

ATOMOS FW 11.05.00 - CONNECT AND NDI GUIDE



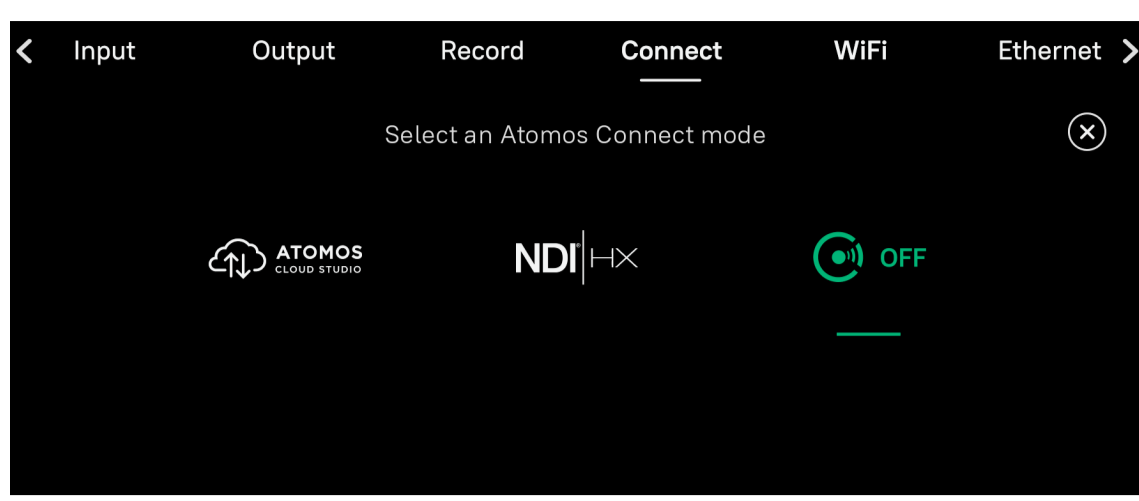
2024.5.13

FW11.05.00では、ネットワークサービスへの接続設定方法が変更されており、その接続方法を説明します。
NDI機能を使用するためには、**アクティベーションライセンスの購入(99\$~)&ネットワーク対応デバイスが必要**となります。

まず、イーサネットかWi-Fiのどちらかのネットワークに接続します。Wi-Fi/イーサネット接続ガイドは[こちら](#)。

CONNECT

Connectメニューをタップし、Atomos Connectモードメニューページを選択します。
3つのオプションが表示されます

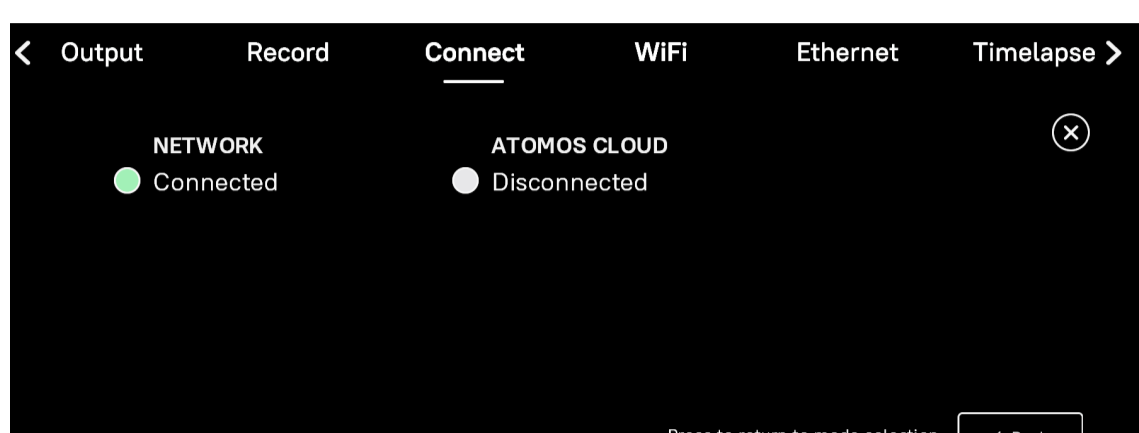


1.ATOMOS Cloud Studio 2. NDI | HX 3.Off

緑色でアンダーラインが引かれているオプションが選択されているため、初めてConnectを使用する場合は、上記のように「Off」が選択されています。

NDI RX (受信) モードになっていると、入力映像ソースメニューが無効になります。
Connectモードを「Off」にするとHDMIまたはSDI入力を選択できるようになります。

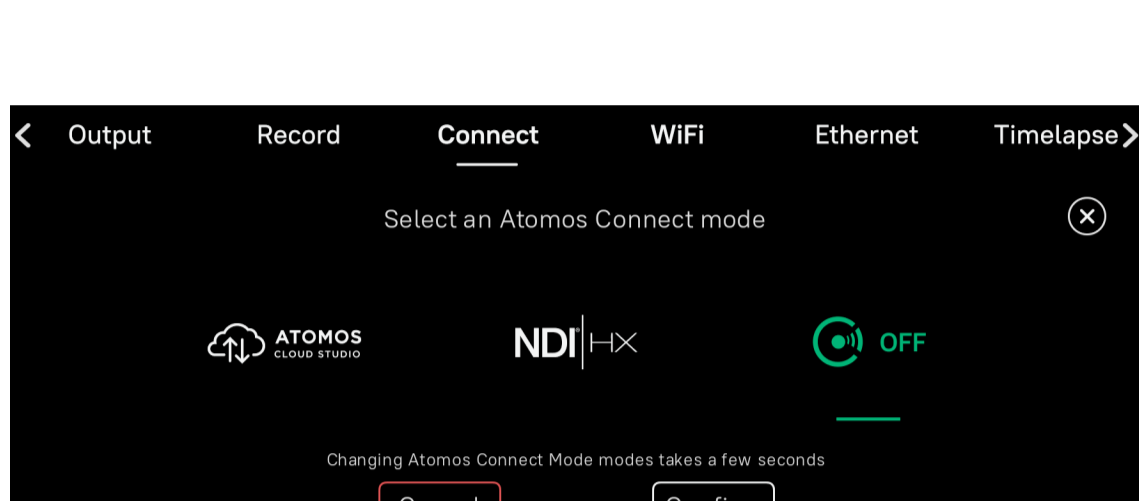
ATOMOS Cloud Studio



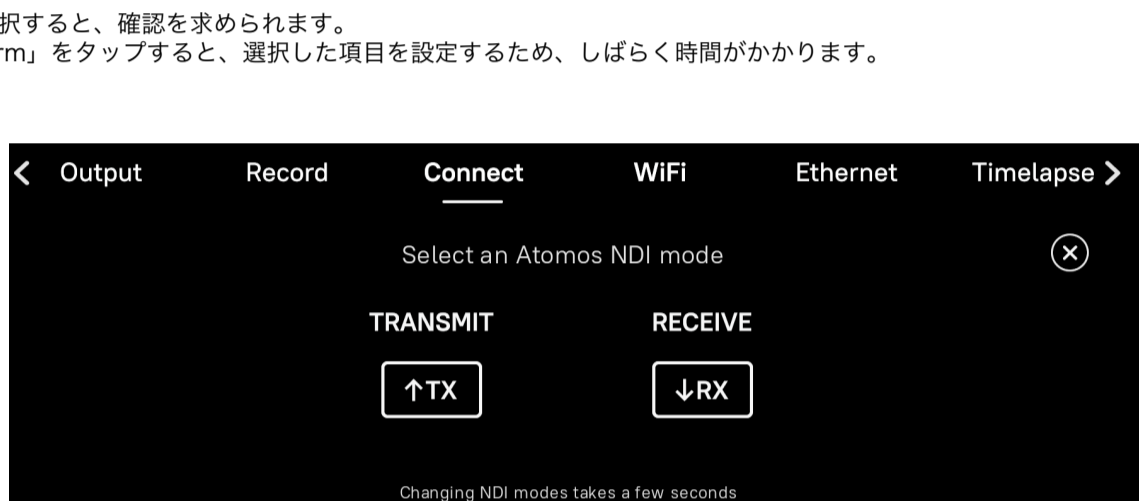
1.のAtomos Cloud Studio を選択すると、上記のような接続画面が表示されます。
Atomos Cloud Studio の詳細は[こちら](#)をご覧ください。

「←Back」ボタンで接続メニューページに戻ります。

NDI

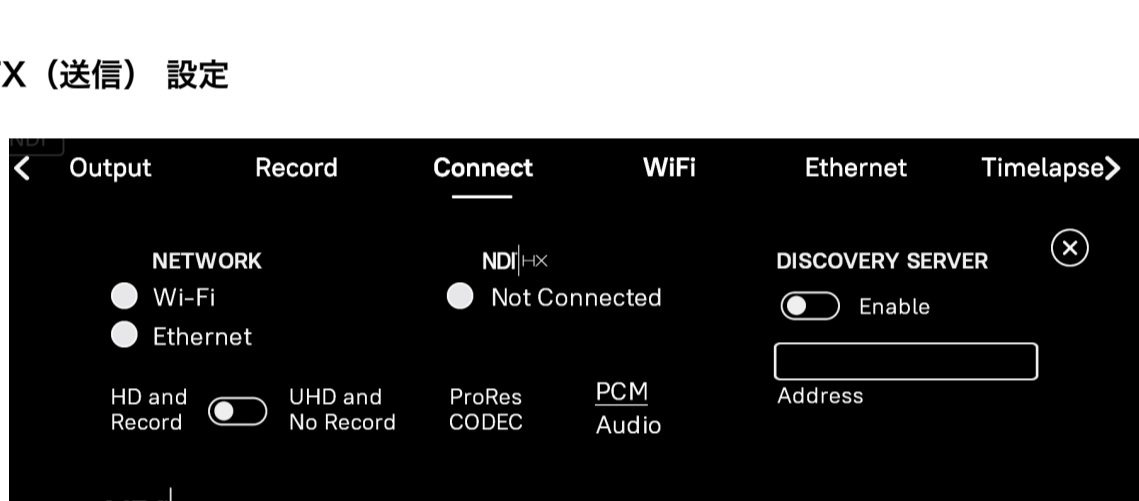


NDIを選択すると、確認を求められます。
「Confirm」をタップすると、選択した項目を設定するため、しばらく時間がかかります。



NDIを設定すると、TX (送信) とRX (受信) の2つのオプションが表示されます。
TXまたはRXを選択し、「Confirm」をタップすると、選択した項目を設定するためデバイスが切り替わります。

NDI TX (送信) 設定



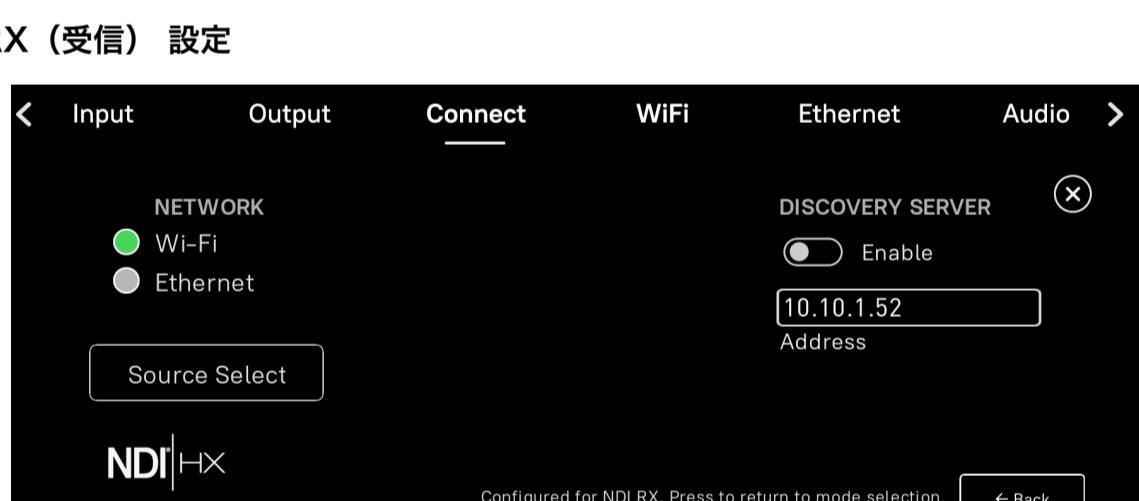
TX (送信) をタップすると画面にNDI TXの設定ページが表示されます。
ネットワーク、NDI | HX、ディスカバリー・サーバーの詳細は以下の通りです。

HD録画あり、またはUHD録画なしの選択



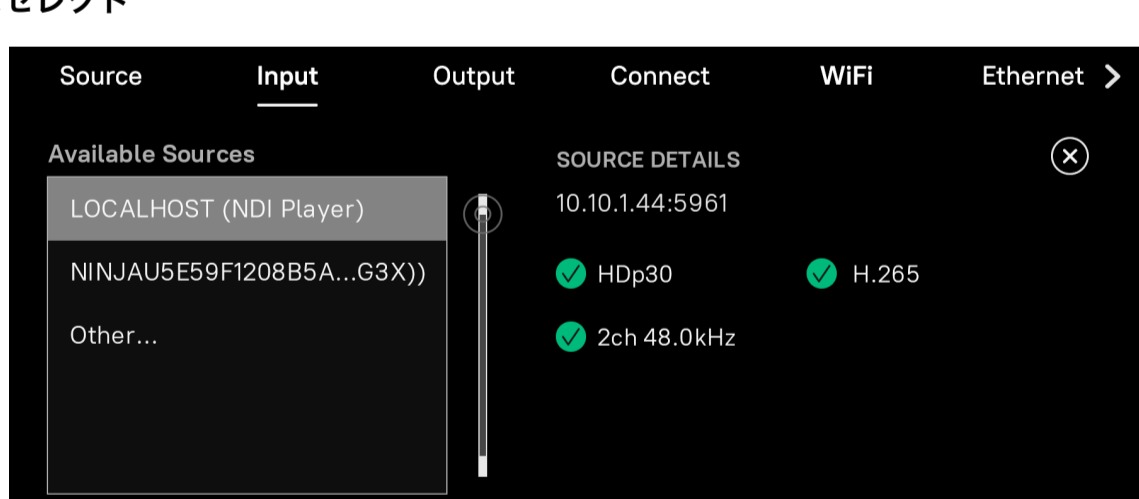
このスイッチにより、NDI信号はHD解像度で伝送しながらその伝送をSSDに録画することができます。
録画は選択されているコーデックを使用します。
UHD 4Kを伝送する場合は、デバイスで伝送を録画することはできません。
出力を録画する必要がある場合は、4K録画が可能な別のデバイスを接続してください。

NDI RX (受信) 設定



RX (受信) を選択した場合、上記の設定メニューが表示されます。
ネットワーク、NDI | HX、Discovery Serverの詳細は以下の通りです。

ソースセレクト



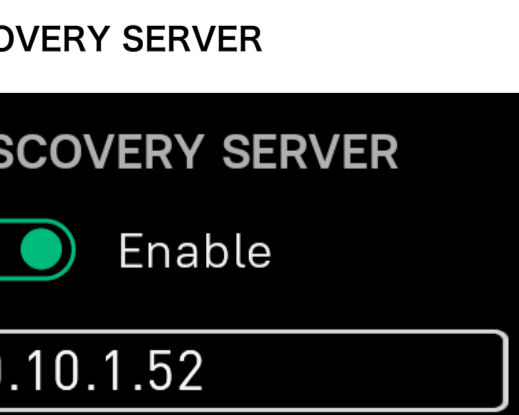
接続するNDIソースを選択するには、「Source Select」(ソース選択ボタン)をタップします。

これにより、mDNSまたはディスカバリーサーバー経由で、利用可能なソースのリストが表示されます。
表示したいソースをタップすると、接続されます。
接続が完了すると、上図のようにリストの右側に接続されているソースの詳細が表示されます。
また、[other...]をタップしてソースのIPアドレスを入力し、利用可能なソースがあれば接続されます。

ネットワーク、NDI | HX、ディスカバリー・サーバーについて

| | |
|---|---|
| | |
| ネットワーク イーサネットとWi-Fiの両方のネットワークの接続状態を示し、上図のように緑が接続済み、グレーが未接続です。 | NDI HX (TX(送信)のみ) NDI TX (送信) の状態を示し、緑は接続中、灰色は未接続を意味する。 |

DISCOVERY SERVER



NDI環境にディスカバリー・サーバーがある場合は、ここで有効、設定ができます。



アドレスボックスをタップして、サーバーのIPアドレスを追加します。

「enable」スイッチをタップすると、デバイスがサーバー経由で検出可能になり、サーバーに登録された他のソースを検出できるようになります。